

地本業務ニュース

J R 東海 労 ・ 静 岡 地 方 本 部

NO. 1 2025 年 12 月 23 日 発行者： J R 東海 労 静 岡 地 方 本 部 半 場 弘 恭

2026ダイヤ改正について

12月12日、地本は業務委員会を開催し、「令和8年3月ダイヤ改正について」以下のとおり会社説明を受けました。

- (1) 2026年3月ダイヤ改正について
- (2) 三島駅営業体制の見直しについて
- (3) 車両区派出の統合について
- (4) 富士運輸区庁舎移転に伴う交番の見直しについて
- (5) 車側カメラによるワンマン運転拡大について

実施日は3月15日（土）で、地本は行路等改善要求を取り組んで、申し入れを行っていきます。

また、静岡管内における特徴的な内容は以下のとおりです。

- 1. 新貨物駅工事に伴う徐行時分の設定（原～東田子の浦）
- 2. ワンマン運転拡大を見据えた列車体系の見直し
- 3. 富士駅連動取り替えを見据えた回送列車の新設
- 4. 新幹線ダイヤ変更に伴う在来線最終列車の繰り下げ
- 5. ホームライナーの減車
- 6. インバウンド向け臨時列車設定による回送列車の新設
- 7. 指導訓練のLMS訓練化

〈会社説明〉

1. 新貨物駅工事に伴う徐行時分の設定

新貨物駅工事（原～東田子の浦）に伴う徐行時分を設定する。2027年1月に下り線路の切り替えを予定し、一定期間の徐行が必要となるが、列車遅延の発生から接続を極力維持するために、予め列車時刻の繰り上げ繰り下げを列車ダイヤに繰り込む。下り列車の富士行きは富士までに3分、静岡行きは静岡までに3分付加する。上り列車は2027年4月に予定するため2027年のダイヤ改正で反映する。

2. ワンマン運転拡大を見据えた列車体系の見直し

ワンマン運転拡大を見据えた列車体系の見直しを行う。2028年実施予定のワンマン拡大を見据えて浜松～豊橋で315系4両編成投入し、浜松駅を直通する列車は一部を残して浜松止まり、もしくは同一ホームでの乗り換えとなる名古屋方面から豊橋を直通する2702Fについても豊橋で継走分離する。

3. 富士駅連動取り替えを見据えた回送列車の新設

2027年1月予定で富士運輸区電留線を廃止、入換信号機撤去により入換信号機による入換は不可となるため夜間留置箇所を変更する。取り替え後を見据えて、最終富士駅止まりの入換を取りやめ富士～富士川で回送列車を設定し、日出駅身延本線に留置する。

4. 新幹線ダイヤ変更に伴う在来線最終列車の繰り下げ

サンライズ東京発を24分繰り上げて、日曜日翌日の保守周りを最大20分拡大、夜間作業の時間を確保する。新幹線上り最終「こだま」764号名古屋～静岡の運転時分を7分短縮する。静岡23時23分着。名古屋～掛川の滞在時間が拡大する。臨時の「のぞみ」516号運転時には、名古屋で乗り換えできるので新大阪～京都の滞在時間が拡大する。

こだま764号時刻見直しに伴い浜松到着が2分繰り下がる。こだまからの接続時間確保のため824M（島田行き）発車を2分繰り下げる。金土休前日静岡までの延長運転島田～静岡で2分繰り下がる。

5. ホームライナーの減車

ホームライナー（373系）について利用状況を踏まえて一部（4382M 4374M 4385M）を減車する。

6. インバウンド向け臨時列車設定による回送列車の新設

訪日外国人向けに本線から身延線に臨時列車（313系）の直通運転を行う。ダイヤ改以降週3回（火木土）三島9：30～富士宮10：30頃となる。普段使用しない線路を使用するためレール研磨のために定期での回送列車を設定する。

7. 指導訓練のLMS訓練化

2026年度LMS（学習管理システム）を4月から実施する。定例訓練および知悉度確認を効果的に実施するため、対面1時間、LMS1時間のハイブリッド形式とする。LMS活用により、明けの待ち時間減少など訓練枠の実施を柔軟に設定できる等のメリットがあり教育効果を高められる。毎月25日に訓練受付機関を設定し、準備できしだい変更も可とする。

組合：LMS訓練は具体的にはどのように行うのか。

会社：個人タブレットのアプリで行う。LMS訓練のほうから受けることもできる。対面訓練開始時間が増えることになる。変更申請した場合訓練期間は月の後半になるかもしれない。

組合：富士運輸区の現車訓練はどこで行うことになるのか。

会社：沼津か静岡になると思うが、まだ決まっていない。

組合：三島駅サポートつき指定席券売機の設置に伴う三島駅営業体制の見直しによる要員減で、転勤は発生するのか。

会社：転勤（移動）はありえるが、業務量をみてのことなので時機はわからない。

組合：車両区派出の統合により運転士作業は変わるのか。

会社：これまで24時までに留置する車両はパン上昇留置し、その後検修が行っていたが、パン下げ留置する運転士が留置後報告し、構内運転士が確認する。併合作業は入換合図を運転士が無線機で行う。373系の作業が沼津・浜松で1回ずつある。

組合：派出の建物はどうなるのか。

会社：構内運転士のために残していくよう調整中である。

組合：2027年3月予定の沼津～三島のワンマン運転は沼津運輸区の運転士が担当するのか。

会社：沼津運輸区以外の運転士が担当することもありえる。

以上